



平成 19 年 3 月 19 日

各 位

会 社 名 日立ビジネスソリューション株式会社

代 表 者 名 取締役社長 木村 伊九夫

(コード番号：4738 東証一部)

問 合 せ 先 総 務 部 長 宮本 政憲

(Tel 045 - 224 - 6111)

当社の親会社 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

代 表 者 名 代表執行役 執行役社長 小野 功

(コード番号：9694 東証一部)

当社の親会社 株式会社日立製作所

代 表 者 名 代表執行役 執行役社長 古川 一夫

(コード番号：6501 東証一部 他)

## 平成 19 年 3 月期決算における特別損失発生と通期業績予想修正のお知らせ

当社は下記のとおり、平成 19 年 3 月期決算において特別損失を計上する見込みであるとともに、平成 18 年 10 月 26 日に公表した平成 19 年 3 月期の通期業績予想(連結・個別)を修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生及びその内容

##### (1) 連結決算

個別決算において関係会社株式評価損を計上するため、のれんの一括償却(約 430 百万円)を、特別損失として計上いたします。

##### (2) 個別決算

当社 100%出資の連結子会社である(株)ピスクの業績悪化に伴い、当該株式の実質価額が著しく低下したため、減損処理による関係会社株式評価損(約 750 百万円)を、特別損失として計上いたします。

#### 2. 当期の通期業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日)

##### (1) 連結業績予想数値の修正

(金額単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	15,120	935	540
今 回 修 正 予 想 ( B )	14,090	720	196
増 減 額 ( B - A )	1,030	215	736
増 減 率 ( % )	6.8%	23.0%	-
(ご参考) 前期実績(平成 18 年 3 月期)	-	-	-

(注)当社の連結財務諸表は平成 19 年 3 月期より作成のため、前期実績(平成 18 年 3 月期)については、記載しておりません。

## ( 2 ) 個別業績予想数値の修正

( 金額単位：百万円 )

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	14,380	970	570
今 回 修 正 予 想 ( B )	13,600	970	198
増 減 額 ( B - A )	780	0	768
増 減 率 ( % )	5.4%	0.0%	-
( ご参考 ) 前期実績 ( 平成 18 年 3 月期 )	13,594	881	500

## 3 . 当期の通期業績予想数値の修正理由

## ( 1 ) 連結業績予想数値の修正理由

売上高の減少は、当社のシステムソリューション事業、特にパッケージ製品関係の伸び悩みによる売上減少に加え、司法書士向けパッケージ市場の低迷により当社連結子会社(株)ピスクの売上が大幅に減少するためであります。

経常利益の減少は、上記(株)ピスクの売上高減少により、同社の営業利益が減少するためあります。

当期純利益の減少は、経常利益の減少に加え、前述いたしましたのれん一括償却(約 430 百万円)を、特別損失として計上するためであります。

## ( 2 ) 個別業績予想数値の修正理由

売上高は前述のとおり減少いたしますが、経常利益につきましては、原価低減の推進等により売上減の影響を吸収できる見通しであるため、前回発表予想値と変更ありません。

当期純利益の減少は、(株)ピスクの業績悪化に伴い関係会社株式評価損(約 750 百万円)を、特別損失として計上するためであります。

## 4 . 期末配当金について

期末配当金につきましては、今回の通期業績予想の修正による変更はなく当初の計画どおり、1株につき7円(年間配当金14円)をお支払いする予定であります。

(注) 通期業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上